

2016

58

ひな人形をいつまでも飾っていると嫁き遅れになる？
いや、結婚なんて少しばかり遅れたっていい。
むしろ一日でも遅くして娘を手元に置きたい、
などと隣は考えているようです。
親心知ってか知らずか当の娘は口を開けてお昼寝中。



亀ヶ崎福祉だより

11月7日 ほほ笑みまつり



子ども達の屈託のない笑顔。
なんだかこちらまで嬉しくなり、幸せな気分になります。
子ども達がいつも「笑顔」でいられる家庭や地域でありたいものです。



11月7日 ほほ笑みまつり

10月6日 ふれあいの会

一人暮らしの高齢者に本人の立場や希望を尊重し、年7回にわたって昼食を配っている事業の仕事を亀ヶ崎社会福祉協議会で行っています。この弁当をつくって下さっているのが、公募に快く応じてくれた、高齢者夫婦・高齢独居者に思いをよせる地域の給食ボランティアの方々です。弁当を頂いている方々は、いつも季節感を取り入れたおいしい中身と、減塩で柔らかな料理に喜んでおります。また、この弁当をお昼の時間に届けてくれる地区民生委員や協力員がおられる情景をみる時、これが正に地域福祉の心だと思っております。

この支え合いの連携で地域を元気にし、行き先を明るくする要因となれば。そういったことが地域福祉の活動において、重要なのではないかと考えております。



亀ヶ崎社会福祉協議会
副会長 武田 正三

自宅・近所の交流

【小学生の部】(酒田市立亀ヶ崎小学校)

あいたかさ 村田かやの(2年)
「こんにちわ」 その一言が、地いきのわ さとうひまり(2年)
おじいちゃん「お帰り」の言葉が あたたかい 福島 蘭(3年)
じいちゃんばあちゃん わらおうよ 未来にむかってワッハッハ 佐藤 颯(3年)
お互いの 助け合いこそ 笑顔の輪 今野 星(5年)
ボランティア バトンをつないで つづけてく 齋藤 麻奈(5年)
広げよう せだいをこえた おつきあい 清野 嗣人(5年)
お年寄り 守り守られ 明るい未来 今井 柚葵(6年)

【中学生の部】(酒田市立第三中学校)

じいちゃん ネットに勝る 齋藤 汰朗(1年)
生きる辞書 齋藤 介護の輪
「大丈夫？」 笑顔で声かけ 齋藤 梨緒(1年)
もつけどの おばあちゃんとの 愛言葉 森田 優尋(1年)
スマホより じいちゃんの知恵が 菅原 大輝(2年)
役に立つ

【一般の部】

始めよう ロコモ体操 転ばぬ先の杖となる 五十嵐美智(最上町)

【小学生の部】(酒田市立亀ヶ崎小学校)

おしえてね むかしのおはなし わくわくするよ えんどうゆうた(1年)
さむいなか あかるいあいさつ 金子めいな(2年)
あたたかい いつも笑顔が 宝物 阿部 充希(4年)
地区の人 おばあちゃん 松浦 優依(4年)
おばあちゃん 地域を支える 助けあい 松浦 由仁(5年)
「おはよう」と みんながあいさつ 元気な町内 鶴巻 玄太(5年)
小さな手 ばくがはなさず 支えるよ 和島 美侑(6年)

【中学生の部】(酒田市立第三中学校)

支え合い みんなで築く 笑顔の輪 広げよう 優しい心と 笑顔の輪 山口 蓮(2年)
手と手と手 つないでできる 大きな輪 長濱 琴音(2年)
今井 海里(2年)

【一般の部】

集会は 活気溢れる 笑い声 齋藤ミエ子(千石町二)
応募総数：345件
たくさんの方の応募ありがとうございました。

社協からのお知らせ

地域の「新しい取り組み」について

年々高齢化等の増加に伴い、必要物資の調達・降雪期の除雪等に困難を期し、隣接住民の支え合いが無いと実生活に苦慮する時期が目前です。
平成28年度より実施される第3期酒田市福祉活動計画の「具体的取り組み」として、住民の「新たな支え合い活動」の取組推進が掲げられました。
亀ヶ崎社協としては、H29年度実施目標として次年度は、地域の課題把握・研修会の開催等を計画しております。

編集後記

「世界平均温度上昇を2度未満に抑える」事を目標としたコップ21がフランスの首都パリにおいて、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が正式に採択されました。(本間)

平成27年度編集委員
阿部 宣子 大場 直人
江口 暢子 田澤 薫
大江 美千 本間 宏
(五十音順)

健康一口メモ

感染性胃腸炎 ノロウイルス ってなあに？

- 一年を通して発生しているが特に冬季に流行する。
- 手指や食品などを介して経口で感染、人の腸管で増殖し、嘔吐や下痢、腹痛、軽度の発熱を起こす。
- 健康な人は軽症で回復しますが子ども、お年寄りは重症化したり、嘔吐物を気道に詰まらせて亡くなる場合もある。
- 予防のためのワクチンはない。

予防方法

■手洗い

- 調理や料理の盛付け前
- 食事の前
- トイレの後、オムツ交換後

※液状せっけんを使い丁寧に2回洗い、ペーパータオル、またはきれいなタオル、ハンカチで拭く。

■消毒液の作り方

- 薄い消毒液

用途 トイレのレバー、ドアノブ、蛇口などの手の触れる部分の消毒

作り方 ペットボトルのキャップ半分のハイターかブリーチに水を加えて500mlにする

- 濃い消毒液

用途 嘔吐物の始末、便がついた床や衣類などの消毒

作り方 ペットボトルのキャップ2杯分のハイターかブリーチに水を加えて500mlにする

■加熱殺菌

- 加熱用食品は中迄しっかり加熱する。目安は85～90℃で90秒以上必要
- まな板、包丁、へらなどの調理器具や流しは熱湯消毒が有効

■特に注意を要するとき

- 症状のある人は食品の取扱いを止める
- みんなが触るところは消毒をする
- 家族全員で手洗いをする

毎日イキイキとして生活を送るために食事は「たくさん」より「まんべんなく」食べ「活動的な毎日」を過ごすことが大切です。

第三回 会員研修会 2月3日 地域での新たな支え合い活動

「よろずや琢成」の 取り組みについて

講師 酒田市区社会福祉協議会
地域福祉課課長補佐 碓谷 勉氏
琢成学区社会福祉協議会会長
上田 勝弥氏

本市の高齢化率は32.5%で、「超高齢化」を迎えています。つながりを大切にし共に支え合うまち、地域福祉サービスの充実したまちをつくるために、先進的な取り組みを行っている琢成学区の事例をお聞きしました。



超高齢化は一部地域の話ではありません。皆、真剣に耳を傾けています。

酒田市区福祉 アンケートの結果から

★将来不安なことは何ですか？
除雪・経済的なこと・外出・調理・重い大きい買い物・大掃除など
★安心な地域のために必要なことは？
定期的な見守り・相談体制・情報提供・通報システム・介護予防支援・助け合い

●琢成学区の高齢化率は42.0%古くからの中心市街地で45自治会があります。高齢化率は飛島を除いて市内トップ。多くの高齢者が買い物、ゴミ出し、除雪などに困っています。

これからもっと
多くなるのでは？

●コミ振、学区社協、市、市社協公益大、地域包括支援センターの協力を得て自治会長、民生児童委員、福祉協力員など約80名による「地域ささえあい研修会」で話し合いを進めました。

地域の中で学び育つ生徒

1学年の学習を通して

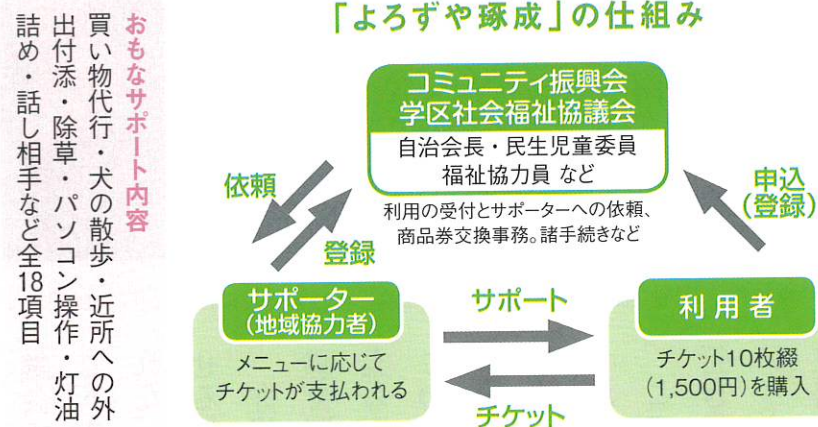
酒田区立第三中学校

酒田三中では「いのちの学習」をテーマに総合学習を行っています。1学年では毎年「いのちを育む地域で学ぶ」をテーマに、普段生活している「酒田」について学習しています。「S&T」(サクト)と名づけられたこの学習では、酒田の伝統文化・方言・防災・観光・芸術・食をテーマに興味を持った



校外での
調査活動の様子

「よろずや琢成」の仕組み



おもなサポート内容
買い物代行・犬の散歩・近所への外出付添・除草・パソコン操作・灯油詰め・話し相手など全18項目

平成25年11月から事業開始され、これまで取り組んできた「よろずや琢成」。まだまだ地域に知らない人もいるということから、この取り組みの一番の成果は「地域の信頼関係が強くなってきたこと」です。亀ヶ崎学区も高齢化は進んでいます。「明日は我が身」「お互い様」の言葉は私たちの地域でも大切にしていきたいですね。

地域の福祉を支えて



伊藤さん



矢野さん

民生委員となり、三年目に入りました。少しはお役に立ちたいと思いつつも、敷かれたレールを歩みただけでしたが、幸いにも千石町一丁目の皆様はお元気で、こちらが励まされ力をいただいています。住民の方々もご近所さんを気遣い、カーテンが開かない、除雪がなされてない等の連絡を頂戴することが増えました。日常的に意識を持って支え合い、見守りの地域活動が根付き育ててきた成果と実感し、とても心強く思います。住民と自治会役員、先輩の民生委員、福祉協力員の皆さんが取り組まれてきた賜物と感謝しております。今後も、地域福祉充実のため共に歩ませていただきます。(千石町一丁目担当 民生委員 伊藤良子)

訪問先の一人暮らしの方々の笑顔や言葉に励まされ、私もそんな風に優しく前向きに年を重ねたいと思いつつも、いつの間にか委員になって三度目の春を迎えようとしています。担当は約200世帯、500名余りの皆さんの出会いや研修の機会をいただく中で、度々、人とのつながりや福祉のあり方について考えさせられます。また、快く雪かきを手伝ったり、近くの一人暮らしの方を気遣ったりと、他を思いやる方達があちこちにいて心強く、そしてその親切に心から「ありがとう」と言ってくれる方達がいてうれしくなります。そんな方達をお手本に、我が町の更なる幸せを願いつつ、私ももっとしっかりしなければと思うこの頃です。(千石町二丁目担当 民生委員 矢野智子)

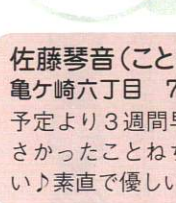
こんにちは 赤ちゃん

子どもは家族の宝、地域の宝です。地域のめんごい赤ちゃんをご紹介します。

門田さくらちゃん [H27.5.1生]
亀ヶ崎二丁目 10ヶ月
予定日より3週間も早く顔をみせてくれたさくらちゃん。人見知りは成長の証！にっこり笑顔で元気に育ってね！



鹿間結太(ゆうた)くん [H27.7.19生]
千石町一丁目 8ヶ月
テレビとお出かけが大好き！笑顔と太ももがチャームポイント！笑顔と感謝の心を忘れずに、心の広い男の子になってね。



佐藤琴音(ことね)ちゃん [H27.8.18]
亀ヶ崎六丁目 7ヶ月
予定日より3週間早く生まれたから少し小さかったことねちゃん。でも元気いっぱい！素直で優しい女の子に育ってね！



このコーナーでは、平成28年生まれの赤ちゃんを募集しています。掲載は来年(H29)3月発行の福祉だより。うちのめんご・ご近所のめんご情報を編集委員またはお近くの民生委員までお寄せ下さい。



4つの器具で 「活動力」を強化!!



地域包括支援センターはくちょう
酒田区緑町13-38
連絡先 TEL(21)0818

最近「足の力が弱くなった」と感じることはありませんか？足の筋力が衰えると友人と会う機会や外出の回数が減り、将来介護サービスが必要になる可能性もあります。酒田市では、このような悩みをお持ちの高齢者の方々に対して、いつでも元気に生活してもらうために、「はくちょう介護予防事業」を実施しています。この事業では、器具を使った運動や健康体操等を行っており、参加者からは「足に力が入るようになった」「歩いて買い物に行けるようになった」と喜びの声も聞かれます。65歳以上の要介護認定を受けていない方で、歩くことに不安のある方は、地域包括支援センターはくちょうにお電話でご相談ください。

はくちょうだより
運動・体操で
いつまでも
元気に!!

